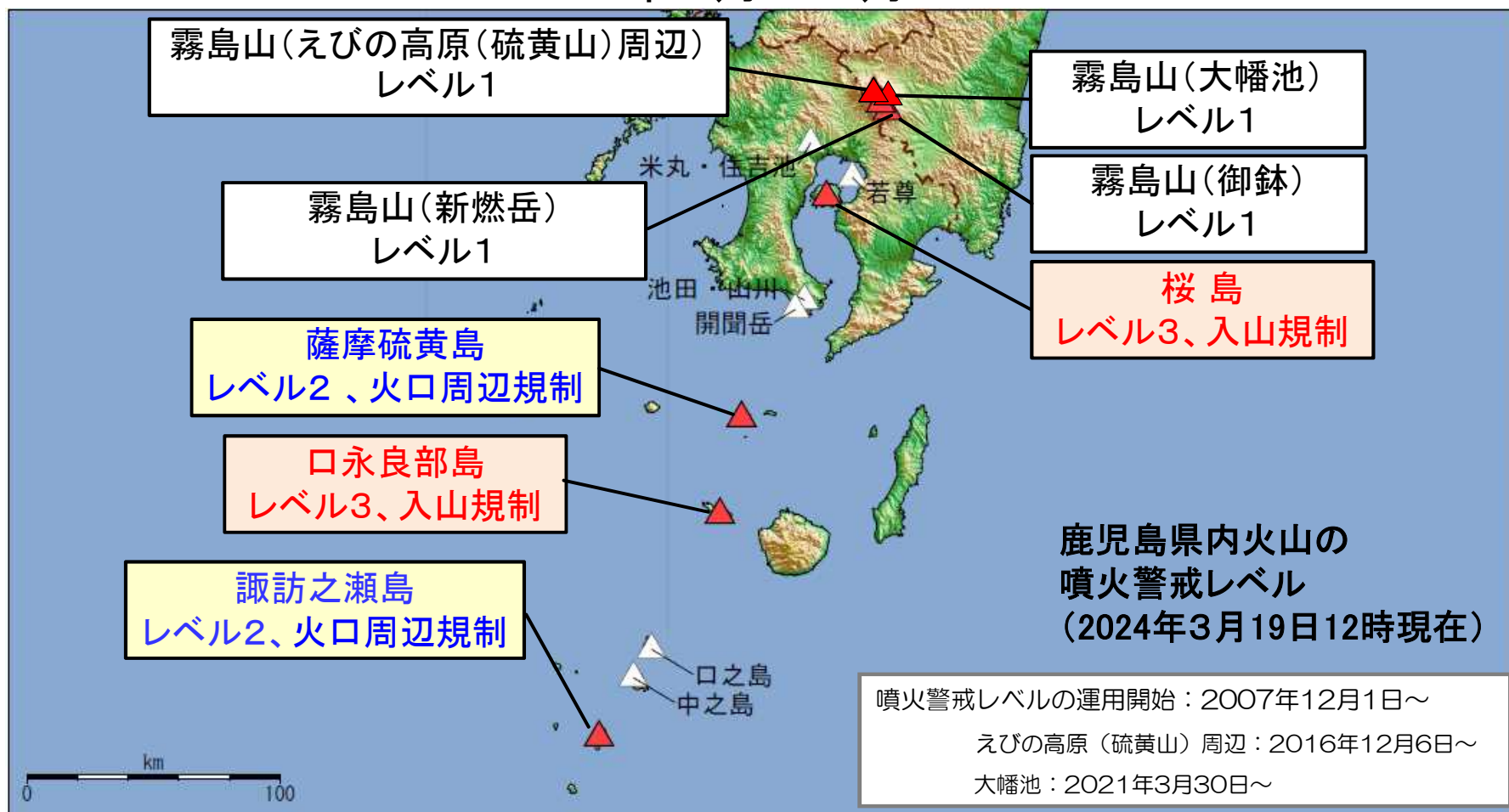


# 鹿児島県の火山活動概況

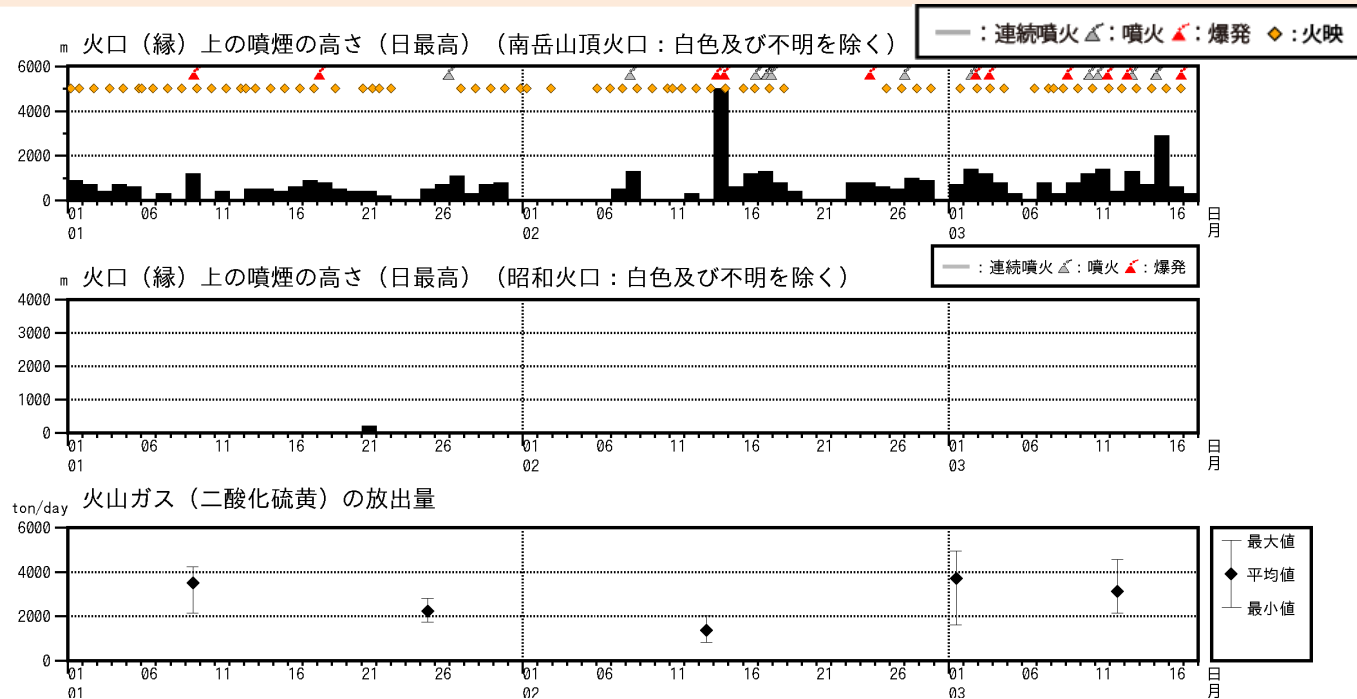
## 2024年2月～3月18日



# 桜島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲:火口から概ね2km  
(2022年7月27日20時発表)

2月以降の主な状況	
活動評価	始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態であり、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態で経過していることから、今後噴火活動が活発化すると考えられる。
噴火活動	[南岳山頂火口] 噴火活動が継続 噴火回数 3月(18日まで):13回(爆発:7回) 2月:10回(爆発:3回) 2月14日18時33分の爆発:噴煙は火口縁上5000mまで上昇、噴石は火口から1300mまで飛散 3月15日04時50分の噴火:噴煙は火口縁上2900mまで上昇 [昭和火口] 基準超えの噴火は発生せず
火山ガス	二酸化硫黄の放出量は概ね多い状態 1,400~3,700トン/日(2月~3月18日)



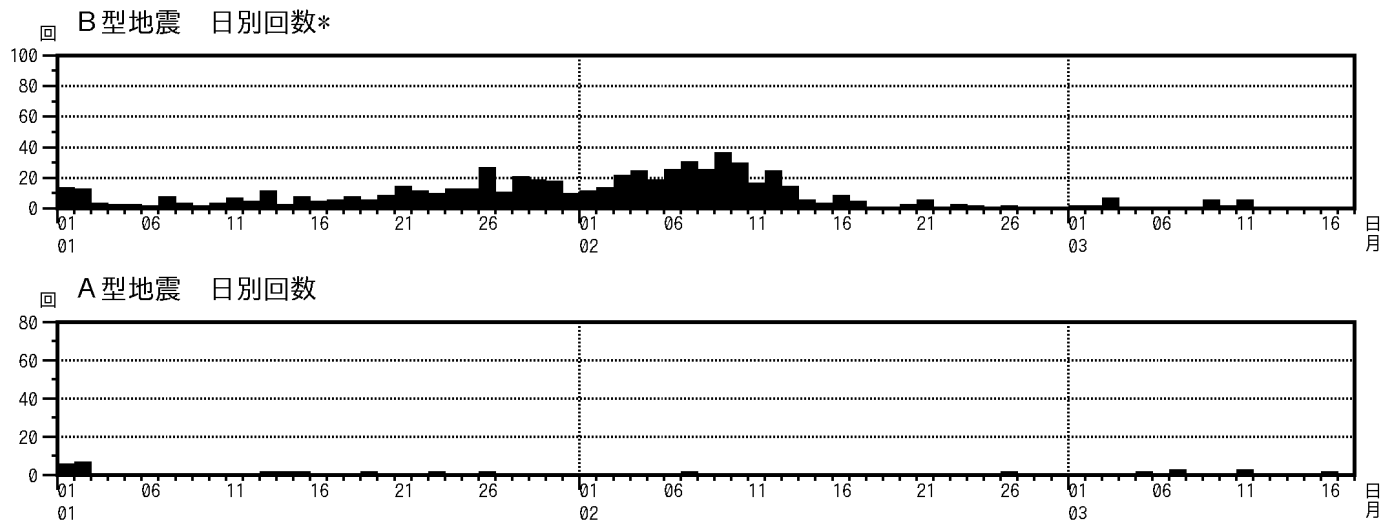
桜島 噴煙活動推移(2024年1月~3月17日)

# 桜島 噴火警戒レベル3(入山規制)

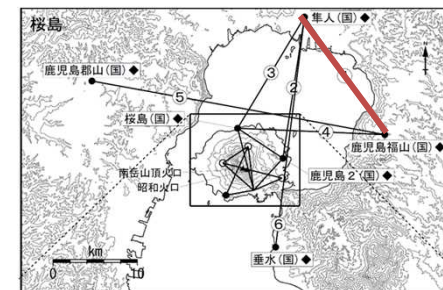
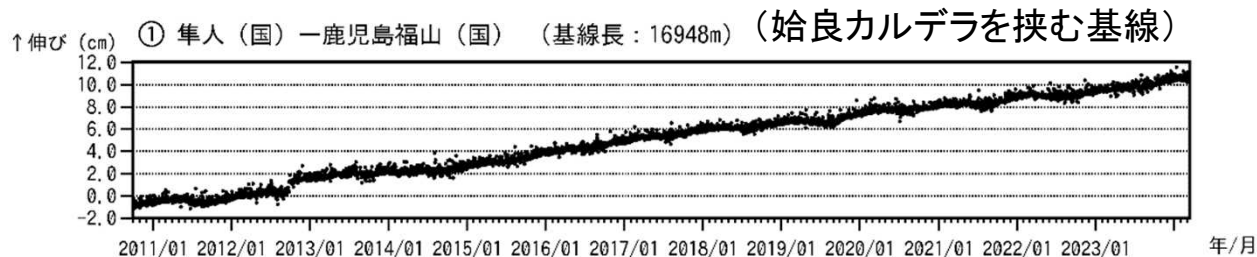
警戒範囲: 火口から概ね2km  
(2022年7月27日20時発表)

## 2月以降の主な状況

震動現象	[地震] 少ない状態 [微動] 主に噴火に伴って時々発生
地殻変動	[GNSS] 始良カルデラの地下深部の膨張を示す緩やかな伸び



桜島 地震活動推移(2024年1月~3月17日)



桜島 GNSS基線長変化図(2010年10月~2024年3月17日)

# 桜島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね2km  
(2022年7月27日20時発表)

## 2月以降の主な状況

地殻変動

[傾斜] 2月に山体膨張及び収縮を示す地殻変動がみられた。13日18時頃から山体膨張がみられる中、14日18時33分に爆発が発生し、噴煙は火口縁上5,000mまで上がった。

桜島 傾斜計・伸縮計 (分値)

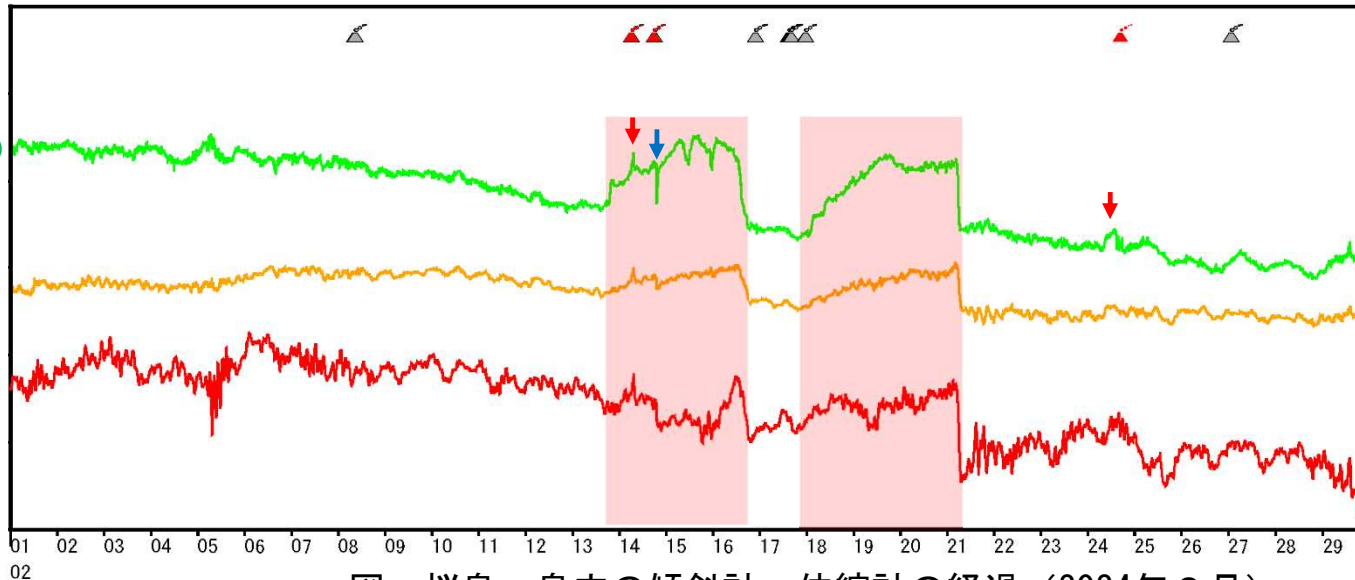
— : 連続噴火 ▲ : 噴火 ▲ : 爆発

南岳山頂火口・昭和火口の噴火・爆発

有村観測坑道  
(大隅河川国道事務所)  
伸縮計火口直交方向

ハルタ山観測坑道  
(京都大学)  
伸縮計火口直交方向

あみだ川傾斜計  
火口方向  
 $-7.5 \times 10^{-9} \text{rad/day}$



↑ 100nstrain  
火口直交方向伸張  
100nradian  
火口方向UP

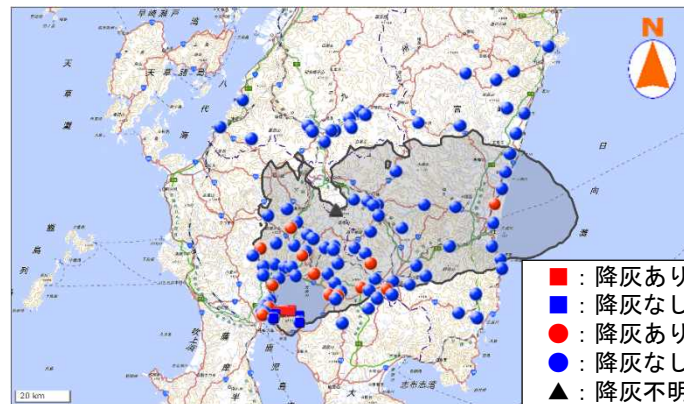
↓ : 噴火に伴う山体の収縮・沈降 (比較的变化が明瞭なもの)

↓ : 14日18時33分に発生した爆発に伴う収縮・沈降

図 桜島 島内の傾斜計、伸縮計の経過 (2024年2月)



図 桜島 2月14日18時33分から発生した南岳山頂火口の爆発の状況 (猪子石監視カメラ)



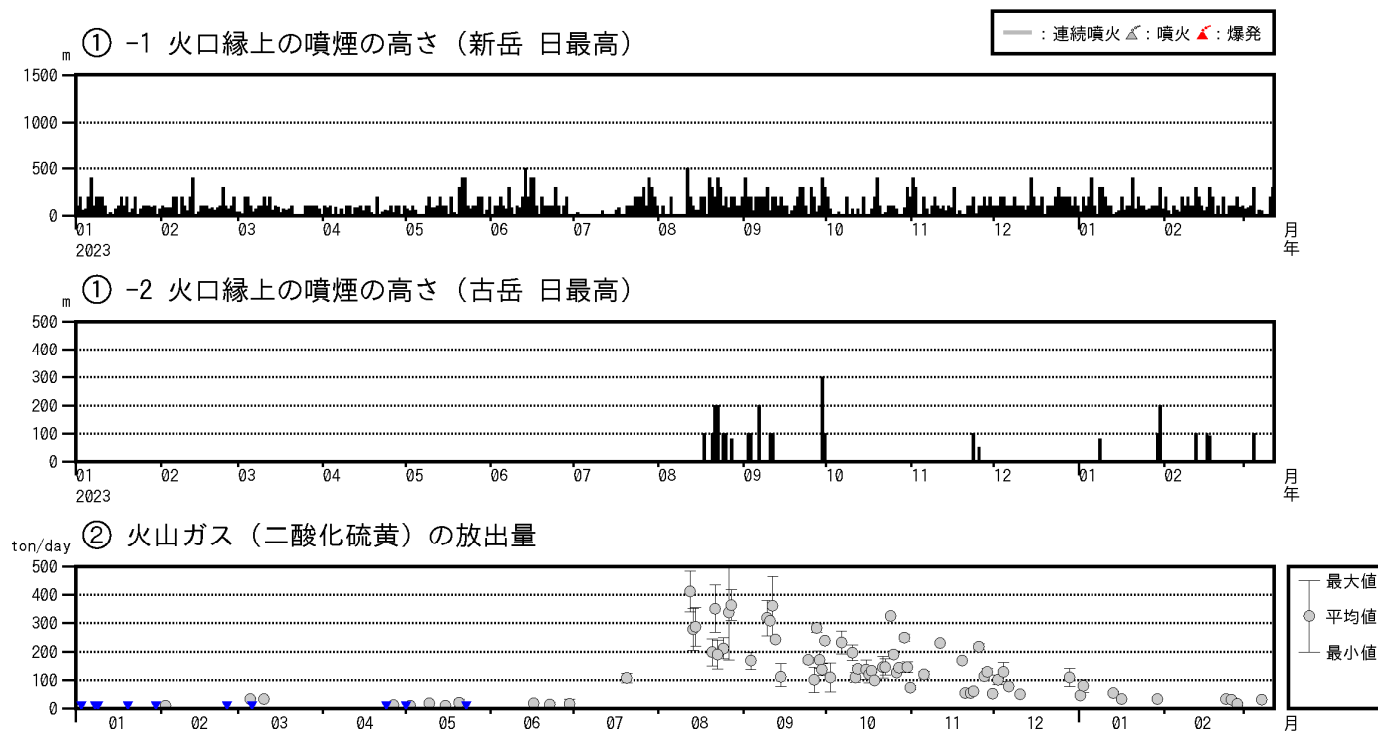
■ : 降灰あり (現地調査)  
■ : 降灰なし (現地調査)  
● : 降灰あり (聞き取り)  
● : 降灰なし (聞き取り)  
▲ : 降灰不明 (聞き取り)

図 桜島  
2月14日18時33分の爆発に伴う降灰調査結果  
・網掛け部分は14日19時01分に発表された降灰予報(詳細)で同日22時まで少量の降灰が予想された範囲を示す

# 口永良部島 噴火警戒レベル3(入山規制) (2023年7月10日16時発表)

警戒範囲: 火口から概ね2km

2月以降の主な状況	
活動評価	火山活動が高まった状態であることから、新岳及び古岳の火口周辺において噴火が発生する可能性がある。新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒が必要。
噴煙活動	[新岳火口] 白色の噴煙を観測 最高300m [古岳火口] 時折白色の噴煙を観測
火山ガス	二酸化硫黄の放出量は1月以降、日あたり100トン未満と少ない状態



口永良部島 火山活動経過図(2023年1月～2024年3月13日)



# 口永良部島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね2km  
(2023年7月10日16時発表)

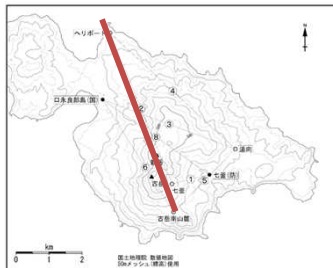
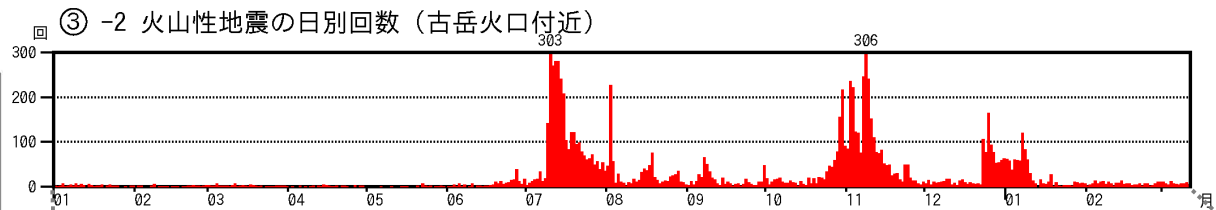
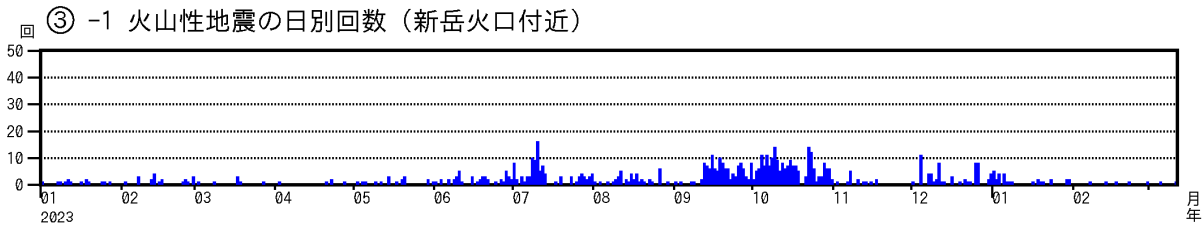
## 2月以降の主な状況

震動現象

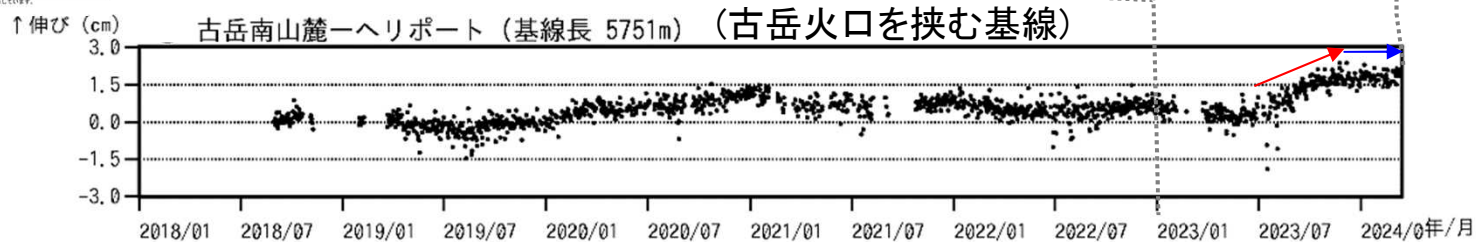
[地震] 古岳火口付近の地震は増減を繰り返しており、1月中旬以降は概ねやや多い状態で経過  
新岳火口付近の地震はやや少ない状態で推移  
[微動] なし

地殻変動

[傾斜] 特段の変化なし  
[GNSS] 2023年6月下旬頃からみられていた古岳付近の膨張を示唆する変動は、11月頃以降停滞



口永良部島 地震活動経過図(2023年1月～2024年3月13日)



口永良部島 GNSS 連続観測による基線長変化(2018年1月～2024年3月13日)